



重点「道の駅」候補に「しちのへ」 ～選定証が授与されました～

「道の駅」は、現在では全国で1040箇所に広がり、地元の名物や観光資源を活かして、多くの人々を迎え、地域の雇用創出や経済の活性化、住民サービスの向上にも貢献しています。国土交通省では、この「道の駅」を経済の好循環を地方に行き渡らせる成長戦略の強力なツールと位置づけ、関係機関と連携して特に優れた取組を選定し、重点的に応援する取組を実施することとしています。その対象となる「道の駅」として、平成27年1月30日、全国モデル「道の駅」及び重点「道の駅」を選定するとともに、重点「道の駅」候補を選定しました。

青森県からは、重点「道の駅」候補に、『「道の駅」しちのへ』が選ばれました。これを受け、平成27年3月2日(月)、七戸町役場において、重点「道の駅」候補選定証授与式が行われ、国土交通省東北地方整備局長から七戸町長に、選定証が授与されました。



▲授与式の様子



▲記念写真



▲授与式の前に行われたPRイベント

選定証を受けた七戸町長からは、「今回、重点「道の駅」候補として選定され、これまでの取組を評価していただき、名誉と同時に責任を感じている。今後もよりよい道の駅となれるよう、頑張ってまいります。」とコメントがありました。

七戸町では、『「道の駅」しちのへ』を観光の総合窓口、農業振興、地域の防災拠点として役割を果たす施設として計画しており、関係機関と連携しながら、計画を具体化していくこととしています。

